

## さいたま市「Web学習コンテンツ『スタディ エッセンス』」に関する問題点

作成経緯と意図・内容(4月10日 校長・情報主任会での説明)

国のガイドラインは 「**学習に著しい遅れが生じることのないよう**…必要な処置を講じること」だが、  
 ↓  
 さいたま市は 「**これを機に、市立学校全ての児童生徒の学びをさらに深めるため、Web学習コンテンツを下記の通り整備すること**といたしました。整備推進の趣旨をご理解の上**ご協力を宜しくお願い**いたします。」と述べている。

## 〈さいたま市の狙いと問題点〉

- ◆ 成果検証のない「ICT教育推奨の取組」(口頭での説明)を他に**先駆けて前のめりに推し進めたい**という狙いである。(子どもたちのための学習保障ではない)
- ◆ 全学年全単元の動画をつくるために、教員に**指導体制以上の過重労働**を与えている。
- ◆ You Tubeのもつ危険性をかえりみずに、**セキュリティに配慮がない**。
- ◆ 「ご協力のお願い」として、教育過程編成の学校を無視して市内全校に**強制**している。

## 職場で出された意見・問題点

一方的に決めないで

子どものためになるの？

- 全国に向けての「さいたま市やってます」アピールはいらない。子どもの目線で子どもに必要な支援がしたい。
- 何のために何をやらなければいけないのか全く整理されていない。全く意味のないアピールとしか思えない。
- 校長会で一方的に話し、質問も受け付けられないなんておかしい。
- 現場を信じず、余計な縛りを加えてさらに混乱させるばかりか、コンテンツ作りのようなことでは現場の力を過信して丸投げ…。You Tubeも見ましたが、あれでは作る意味がないです。…個人的にはあきらめています。

## 〈You Tubeについて〉

- 不特定多数の人が目にするのに、なぜYou Tubeなのか。
- 子どもにYou Tubeを推奨する危険性は、ただでさえ子どもが見続ける危険性があるのに。
- You Tubeを見られない子どももいる。学習支援の方法が偏っているのではないか。

危険すぎる



## 〈内容について〉

- 素人が配信に耐えられる内容を作る技術がない。作成した内容に責任が持てない。・小規模校は大変。
- (下)の指導書がまだ届いていない。教材研究もできないのに動画なんか作れない。
- 3交代制で今月の出勤日が4回ほど。5月7日まででは期間も短く、本当に作ることができるのか。
- 市教委の5分動画を見たが、内容に疑問を感じた。これを15分も作るのか。
- 何時間もある大きな単元では、学習のどこを扱えばいいのか。
- 通級学級：新年度で、まだ会った事もない子どもに何を伝えたらいいのか。
- 支援学級：支援学級の児童は一人ひとり課題が違う。画面を見て習得するのは、そもそも難しい。時間をかけて作る意味があるのか。

## 〈SNSにおける教職員の人権問題〉について

- 市教委の動画もすでにフェイスブックで拡散されている。服装、個人の経歴など、関係の無いことをつぶやく投稿もある。次は、これを私たちにやれと。
- You Tubeは危険。容易に動画を再編集したり、悪用して流したりすることができる。
- You Tubeで顔を出すのは絶対に嫌。自分や他の先生の姿を無防備にネットワークに流すのは危険すぎる。声を流すことも人権問題にならないのか。
- 体育の実技で動きを見せるとしたら、人が映らざるを得ない。
- 作成は強制？ 顔出し、声出しは強制してはいけないと思う。
- 他市ではIDやパスワードをかけてセキュリティを高めている。さいたま市は何の配慮もないのか。

## 〈多忙化〉

- これまでも、突然の方針変更(しかも保護者と同時にメールで知る)に振り回され、現場は大混乱。
- クラス全員へ電話かけ。一時預りで長時間見守り。その上コンテンツ作り？時間が足りない。
- この時期に1年分の教材研究をしないと、学校が再開した時に、限られた時間で責任をもって授業ができない。4月が動画作りだけで終わってしまう。
- 今やることは休業中の学習保証。トップダウンでなく、クラスや学校の実態に合わせて、自分たちが考えて行うべき。動画を作っている場合ではない。

## 〈その他〉

- 「ラジオでの電話放送」。誰が聞いているの？誰へのアピール？子どもも保護者も聞いていない。
- 「ラジオ」はすでに日程まで決められている。少人数校では実施不可能に近い。

